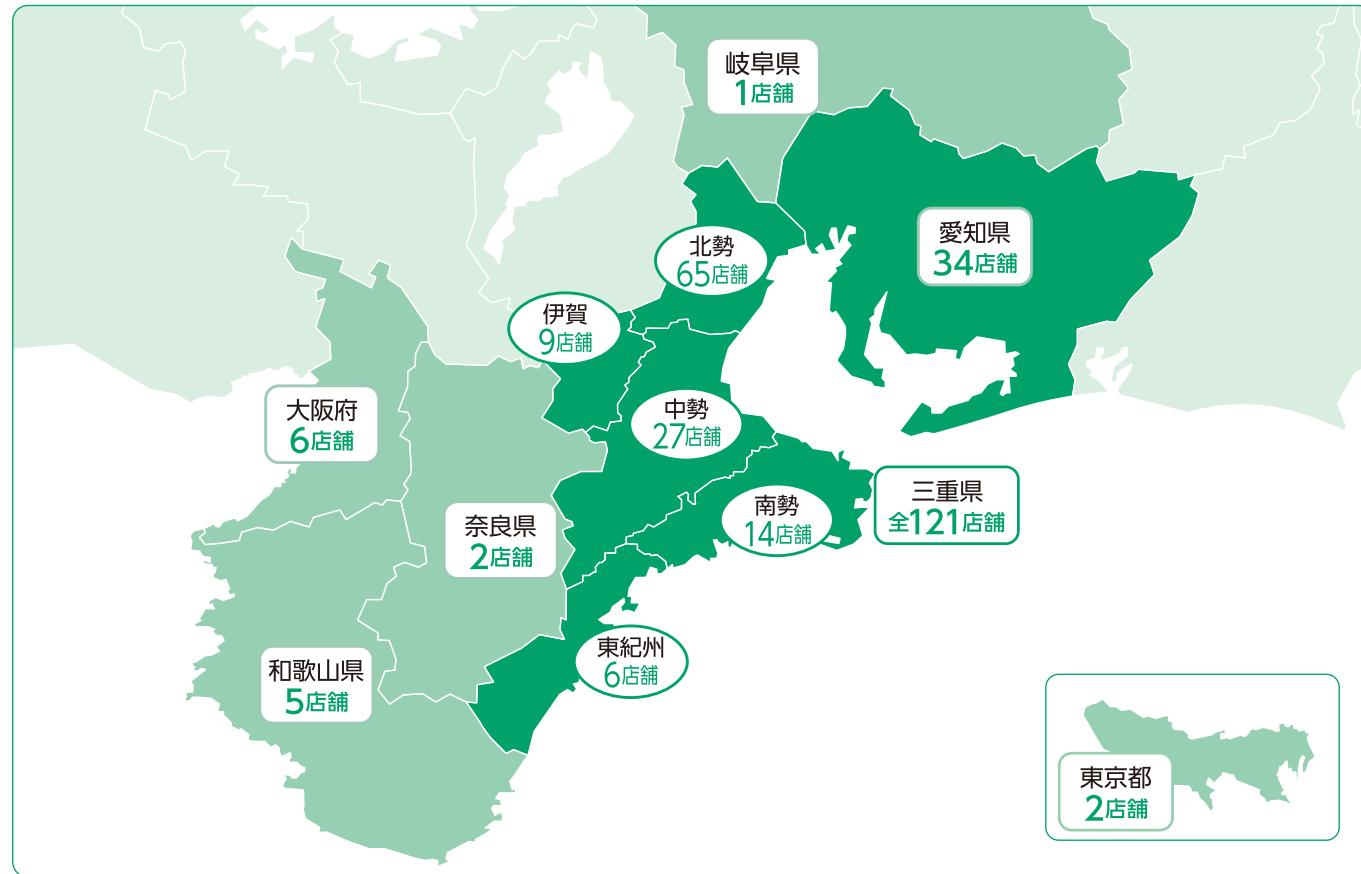


# 店舗ネットワーク

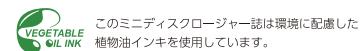


店舗数	三重	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	愛知	名古屋 市内	名古屋 市外	大阪	和歌山	奈良	岐阜	東京	合計
三重銀行	57	43	6	3	5	—	16	8	8	1	—	—	—	1	75
第三銀行	64	22	21	11	4	6	18	16	2	5	5	2	1	1	96
合計	121	65	27	14	9	6	34	24	10	6	5	2	1	2	171

※店舗数は2018年9月30日現在（ローンプラザは除く）



本店所在地（登記上の住所）／三重県松阪市京町510番地  
 本社所在地（本社機能）／三重県四日市市西新地7番8号  
<https://www.33fg.co.jp/>



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した  
 植物油インキを使用しています。

2018年12月発行

# 2018.9

営業の中間ご報告  
 ミニディスクロージャー誌



## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

銀行を取り巻く経営環境が大きく変化する中、2018年4月2日に株式会社三重銀行と株式会社第三銀行の経営統合により誕生した株式会社三十三フィナンシャルグループは、「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」を経営理念として掲げ、第1次中期経営計画（2018年4月～2021年3月）をスタートさせました。

本計画では、計画期間である3年間を、統合効果を早期実現・最大限発揮しつつ、強固な経営基盤を構築することで、質の高い地域金融グループを目指す期間として位置づけ、「リレーションの構築」「ソリューションの提供」「効率化と最適化」「強固な経営基盤の構築」の4つの基本方針のもと、ビジョンとして掲げる「質の高い地域ナンバー1金融グループ」を目指してまいります。

今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月吉日

株式会社 三十三フィナンシャルグループ



代表取締役会長  
岩間 弘

代表取締役社長  
渡辺 三憲

## グループ概要 (2018年9月30日現在)

### 三十三フィナンシャルグループ

本店所在地 三重県松阪市京町510番地  
 本社所在地 三重県四日市市西新地7番8号  
 資本金 100億円  
 上場取引所 東京証券取引所第一部  
 名古屋証券取引所第一部

### 三重銀行

創業年月日 1895年11月15日  
 本店所在地 三重県四日市市西新地7番8号  
 資本金 152億95百万円  
 従業員数 1,314名

### 第三銀行

創業年月日 1912年10月20日  
 本店所在地 三重県松阪市京町510番地  
 資本金 374億61百万円  
 従業員数 1,411名

## 経営理念

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。

## シンボルマーク

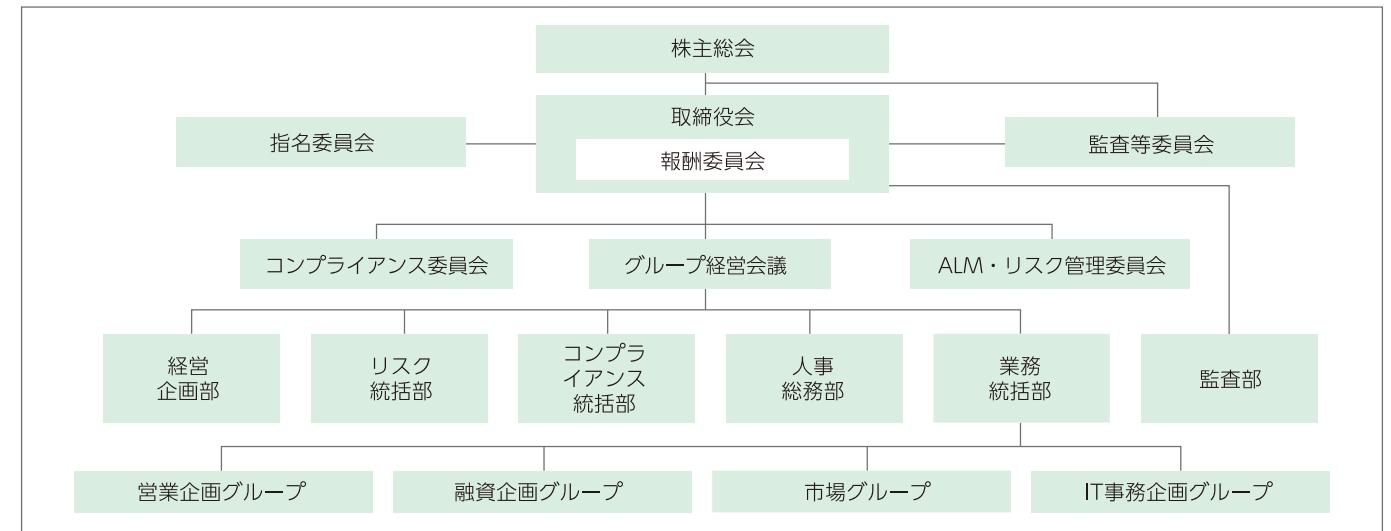


## 【コンセプト】

「33」をモチーフにした2羽の鳥のシンボルマーク。この2羽の鳥は三重銀行と第三銀行を表すとともに、地域のみなさまと三十三フィナンシャルグループを表現するものです。ともに大空へ羽ばたく姿は、地域と三十三フィナンシャルグループの成長と活力あふれる未来を描いています。

## 経営管理態勢

### 三十三フィナンシャルグループ



### 三重銀行

株式会社三十三総研  
 三重銀総合リース株式会社  
 株式会社三重銀カード  
 三重銀信用保証株式会社  
 三重銀コンピュータサービス株式会社

### 第三銀行

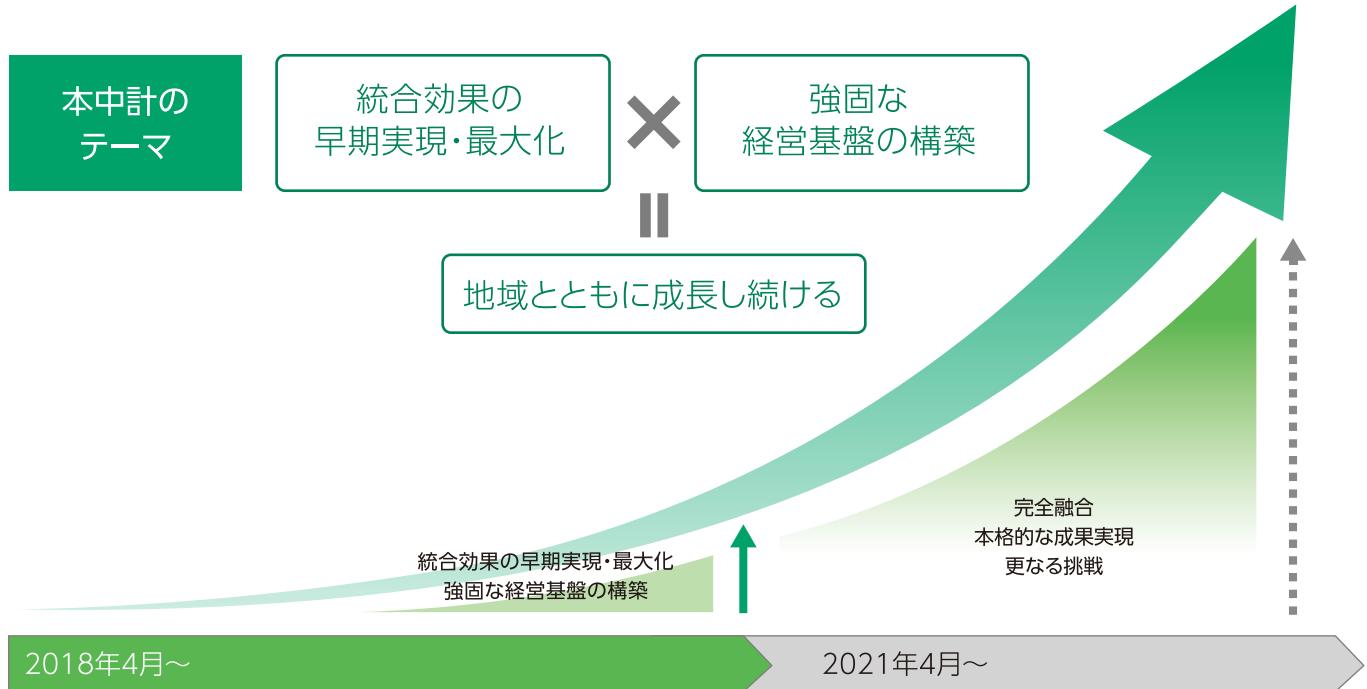
三銀ビジネス・サービス株式会社  
 三銀コンピュータサービス株式会社  
 三銀不動産調査株式会社  
 三重総合信用株式会社  
 第三カードサービス株式会社  
 三重リース株式会社

**ビジョン**

## 質の高い地域ナンバー1金融グループ

地域のお客さまと圧倒的なリレーションを構築し、お客さまの経営課題やニーズに対して、多様なソリューションを提供することで地域に貢献する信頼度ナンバー1の金融グループを目指します。

第1次中期経営計画 (2018年4月～2021年3月)	次期中期経営計画 (2021年4月～2024年3月)
統合効果を早期実現・最大限発揮しつつ、強固な経営基盤を構築することで、質の高い地域金融グループを目指す期間	両行の強みを完全に融合させ、本格的な成果を実現し、更なる成長へ挑戦する期間



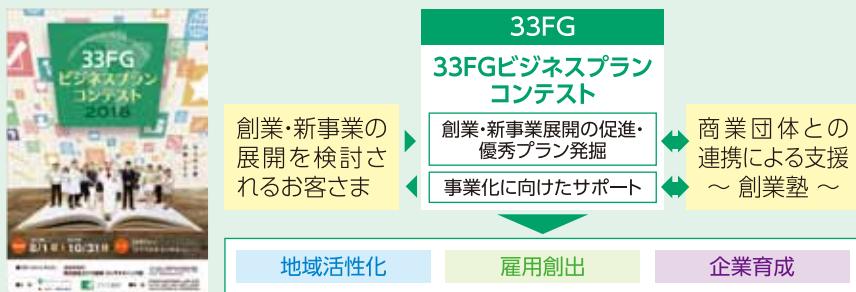
## 基本方針および基本戦略

	基本方針	基本戦略				
リレーションの構築		<table border="1"> <tr> <th>法人のお客さま</th> <th>個人のお客さま</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 事業性評価に基づく本業支援を通じた事業性貸出先数の増加</li> <li>□ 地域経済活性化に向けたお客さまとの接点拡大</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 対面・非対面を融合したお客さまとの接点拡大</li> <li>□ 休日営業の拡充による利便性向上</li> </ul> </td> </tr> </table>	法人のお客さま	個人のお客さま	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 事業性評価に基づく本業支援を通じた事業性貸出先数の増加</li> <li>□ 地域経済活性化に向けたお客さまとの接点拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 対面・非対面を融合したお客さまとの接点拡大</li> <li>□ 休日営業の拡充による利便性向上</li> </ul>
法人のお客さま	個人のお客さま					
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 事業性評価に基づく本業支援を通じた事業性貸出先数の増加</li> <li>□ 地域経済活性化に向けたお客さまとの接点拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 対面・非対面を融合したお客さまとの接点拡大</li> <li>□ 休日営業の拡充による利便性向上</li> </ul>					
ソリューションの提供		<table border="1"> <tr> <th>法人のお客さま</th> <th>個人のお客さま</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ライフステージに対応した多様なソリューションの提供</li> <li>□ ノウハウを相互活用した多様なソリューションの提供</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ライフニーズに対応した商品・サービスの提供</li> <li>□ お客さま本位の営業スタイルの確立</li> </ul> </td> </tr> </table>	法人のお客さま	個人のお客さま	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ライフステージに対応した多様なソリューションの提供</li> <li>□ ノウハウを相互活用した多様なソリューションの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ライフニーズに対応した商品・サービスの提供</li> <li>□ お客さま本位の営業スタイルの確立</li> </ul>
法人のお客さま	個人のお客さま					
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ライフステージに対応した多様なソリューションの提供</li> <li>□ ノウハウを相互活用した多様なソリューションの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ライフニーズに対応した商品・サービスの提供</li> <li>□ お客さま本位の営業スタイルの確立</li> </ul>					
効率化と最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>強力な営業体制の確立</li> <li>ローコストオペレーションの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 営業人員の戦略的配置、店舗の効率化</li> <li>□ 高いコンサルティング力を有する人材の育成</li> <li>□ ノウハウ共有による本部業務等の共通化</li> <li>□ スケールメリットによるコスト削減</li> </ul>				
強固な経営基盤の構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 実効性の高いガバナンス態勢の構築</li> <li>□ 適切な内部管理態勢等の構築</li> <li>□ 新グループのプレゼンス強化</li> </ul>				

## 法人のお客さまへの取組み

### 「33FGビジネスプランコンテスト」の開催

三重銀行グループにて2013年度以降毎年実施してきた創業支援・新事業支援コンテストを、2018年度は三十三フィナンシャルグループとして開催しました。これは三重県・愛知県で創業・新事業展開を予定している法人・個人の方からビジネスプランを募集、表彰し、事業化に向けたサポートを実施する取組みとなります。



### CSR私募債の取組み

2017年1月から第三銀行でさんぎんCSR私募債「地域とともに」、2018年4月から三重銀行でみえぎんCSR私募債「ともに羽ばたく」の取扱いを開始しました。本活動は私募債を発行される企業様から銀行が受け取る手数料の一部をもとに、発行企業が指定する地域の学校や医療・福祉施設等に対して必要な品物を寄贈する取組みとなります。



寄贈者 丸亀産業株式会社様  
(三重銀行)



寄贈者 株式会社北村組様  
(第三銀行)



寄贈者 ユナイテッド三重株式会社様  
(第三銀行)

### 法人インターネットバンキング全面リニューアル

利便性向上、セキュリティ強化のため、2018年10月、法人インターネットバンキングを全面リニューアルしました。ワントタイムパスワード導入などの新機能追加や従来の機能の大幅な拡充を行っています。



トランザクション認証用  
カメラ付専用トークン



二次元コード  
(パソコン画面に表示されます)

### 企業経営者向け情報Webサイトの開設

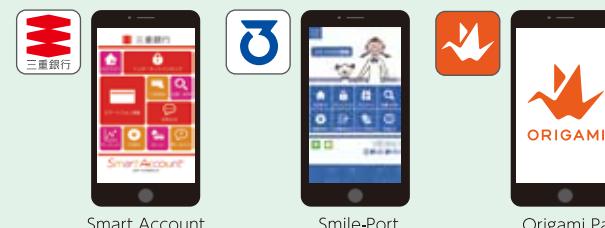
企業経営者が必要とする事業承継やM&A、経営改善、法人保険、収益不動産などの企業経営に関する情報を提供するため、企業経営者向けの独自の情報Webサイト「企業オーナーonline」を開設しています。



## 個人のお客さまへの取組み

### スマートフォン取引の充実

口座の入出金情報が分かるスマートフォン通帳を三重銀行では「Smart Account」(スマートアカウント)、第三銀行では「Smile-Port」(スマイルポート)のアプリをダウンロードすることで利用できます。また、QRコードをアプリで読み取ることでお支払いができるスマホ決済サービスの「Origami Pay」(オリガミペイ)との連携を両行で開始しました。



Smart Account

Smile-Port

Origami Pay

※画像はイメージです。

### SBI証券との提携

資産形成サポート体制の充実とともに、多くの個人投資家の皆さまの利便性向上を図るため、SBI証券と提携した金融商品仲介業サービスを開始しました。



### 遺言代用信託「託す想い」の取扱開始

お客さまに相続が発生した際、遺言書などによらず簡単な手続きでご家族の方などがスムーズに資金を受け取ることができる遺言代用信託「託す想い」の取扱いを開始しました。



### リバースモーゲージの取扱開始

持ち家を担保とする55歳からのローン商品「リバースモーゲージ」の取扱いを開始しました。旅行などのセカンドライフを楽しむ資金、住宅ローンの一括返済など、さまざまな用途で利用可能です。月々のお支払いは、お利息のみのため、生活にゆとりが生まれます。



# 地方創生、地域活性化への取り組み

## 「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin湯の山温泉」の開催

三十三フィナンシャルグループでは、一般社団法人ONSEN・ガストロノミーリズム推進機構と全国の金融機関として初めて提携し、開湯1300年を迎えた「湯の山温泉」にて、2018年9月、三重県内で初となるガストロノミーウォーキングイベントを開催しました。当日は全国各地から311名の方が参加し、「めぐる」「たべる」「つがる」をテーマに約7キロのコースの中で、地元食材を活用した料理やお酒、景勝や見所とともに温泉を楽しんで頂きました。



当日の様子

菟野町観光協会ホームページより

## ヘルプマーク普及支援への寄付金贈呈

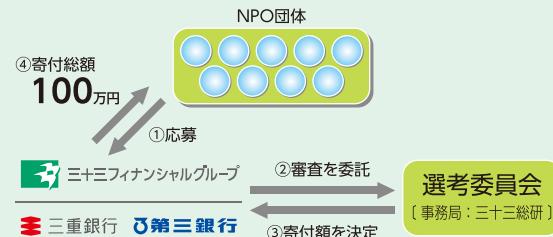
三十三フィナンシャルグループの三重銀行、第三銀行、三重銀総合リース及び三重リースは、CSR活動及び三重銀総合リースの設立40周年目の記念事業の一環で、2018年8月、「ヘルプマーク」の普及活動を展開する特定非営利活動法人いのち繋ぐプロジェクト(名古屋市中区、代表:小嶋麻莉絵氏)に対し、普及活動運営資金として100万円を寄付しました。



「ヘルプマーク」とは  
障がい者や、内臓疾患や難病の方、義足や人工関節を使用している方など、外見上では分かりづらいものの援助や配慮を必要としている方が周囲に援助の必要を知らせるためのマーク。

## 「三十三フィナンシャルグループNPO応援基金」の開催

三重銀行にて2004年度以降実施してきた地元NPOへの寄付による活動応援を、2018年度は三十三フィナンシャルグループとして開催します。2018年度は環境保全、次世代育成支援を主な活動分野とする団体に総額100万円を寄付する予定です。



### 33FG NPO応援基金の特徴

- ▶ 寄付金の使い道は自由
- ▶ 寄付金活用後の報告は必要ありません

## 経営者の育成による地域活性化

企業の持続的成長及び地域経済の継続的な発展を支援するため、地元中小企業の次世代経営者や、これから創業を目指す起業の方を対象とした育成塾を、三重銀行では2015年度より、第三銀行では2018年度より開講しています。これは経営者として必要な実践的知識やスキル習得、地域をけん引する経営者同士の人脈形成や交流の場として活用いただくことを目的とするものです。



みえぎん次世代経営者育成塾

さんぎん経営塾

## 三重県ごま産地化プロジェクト

2018年2月、地元有力ごまメーカーである九鬼産業様(四日市市)などと連携し、ごまの生産量を鹿児島県に次ぐ全国2位の規模に成長させたことが、「地方創生の特徴的な取り組み」として内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より表彰されました。



大臣からの表彰状

ごまの収穫風景

## リージョネット三重の運営

インターネットショッピングモール「リージョネット三重」にて、三重県の数多くの特産品を販売するとともに、地域の様々な情報を発信しています。  
(運営元:三十三総研)



## 「松阪かるた」を通じての地域活性化

「松阪市と第三銀行との地域活性化に関する連携協定」に基づき、松阪市の名所・名物・人物をモデルとした「松阪かるた」を製作し、イベントなどを通じて地域の活性化と魅力の発信に貢献しています。



松阪かるた発表会

松阪かるた交流会

## 「熊野古道定期」にかかる寄付金贈呈

お客さまからお預け入れいただいた「熊野古道定期」の残高に応じて2005年7月より毎年寄付を行っており、寄付金は東紀州地域振興公社を通じて、世界遺産である熊野古道の保全活動に活用されています。



## 「夏休み!お絵描きコンテスト2018」の開催

次世代を担う子どもたちに「食」に関する絵を描いてもらうことで、食べることの楽しさ・大切さや、家族の大切さを見つめ直してもらうために「夏休み!お絵描きコンテスト2018」を開催しました。昨年は第三銀行で開催しておりましたが、2018年度より三十三フィナンシャルグループとして開催し、本年度は、三重県内各地から1,027点に上る多数の応募をいただき大変ご好評いただきました。



## 「夏休み!銀行ワドキ体験隊」の開催

2007年度より毎年、小学校高学年の児童と保護者の方を対象に、クイズやゲームを通じてお金の役割や銀行の仕組みについて学んでいただくイベントを開催しています。2018年度は、2日間で55組122名の親子が参加されました。



本物の1億円の重さを体感



頭取への質問

## 金融リテラシー教育の実施

学生や生徒の皆さまに金融・経済の知識を学んでもらう場を提供するために、各地の学校に出向いて出張授業を行っています。



鈴鹿大学での授業



名古屋コミュニケーションアート専門学校での授業

## 「キッズISO14000プログラム」の取組み

家庭でできる環境保全活動を促進するために2007年度から「キッズISO14000プログラム」を実施しています。同プログラムの取組実績は延べ19校、1,090名となっています。



キッズISO14000プログラム



## 「お金に関する特別授業」の実施

子供たちにお金の大切さ、銀行の役割を学んでもらうため、地域の小学生を対象に「お金に関する特別授業」を実施しています。



亀山小学校での特別授業



## スポーツ振興による次世代育成

地域のスポーツ振興を通じて次世代育成を図ることを目的として、少年サッカー、ティーボール、ミニバスケットボールなどスポーツイベントの開催・協賛等を積極的に行っています。



みえぎんカップ三重銀行杯少年サッカー大会



三重銀行杯三重県小学生ティーボール選手権大会



第三銀行杯三重県少年サッカー選手権大会



第三銀行杯三重県ミニバスケットボール選抜大会

## 御在所岳山上での植樹

2018年9月、御在所岳山上で植樹活動を三重銀行職員、第三銀行職員及び職員家族等40名で行いました。御在所岳山上で種を採取し、「みえぎんまなびの森」で育成したミズナラやドウダンツツジなどの苗木計100本を認定NPO法人森林の風の指導のもと、御在所岳山上に植えました。



## 「さんぎんの森」づくり

三重県が松阪市で行う企業の森「針葉樹の森元気回復」プランへの参加を通じて「さんぎんの森」づくりを展開し、職員やその家族が間伐を行うなど、地域の環境保全活動に取り組んでいます。



## 「みえぎんGreen Smileキャンペーン」実施

2018年10月～2019年3月にかけて、ペーパーレス化推進とスマートフォンアプリ及び電子交付サービスの利用による利便性向上を目的としたキャンペーンを実施しています。対象のお取引をいただいたお客さまにはもちろん電子ギフト券をプレゼントしています。



## 電気自動車用の急速充電器の設置

環境保全活動の一環として、電気自動車用の急速充電器を八間通支店、小俣支店、松阪東支店、川井町支店、一身田支店、稲生支店の各駐車場内に設置しています。



## 三十三フィナンシャルグループ

### 三十三フィナンシャルグループ連結

(単位：億円)

科目	2018年9月期
経常利益	49
親会社株主に帰属する中間純利益	499
自己資本比率	8.81%

2018年9月期の業績につきましては、経常利益は49億円となりました。経営統合による初年度の特異要因として「負のれん発生益」463億円を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は499億円となりました。

### 三重銀行・第三銀行(2行単体合算)

(単位：億円)

科目	2018年9月期					
	2行単体合算		三重銀行(単体)		第三銀行(単体)	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
業務粗利益	246	△1	116	0	130	△1
うち資金利益	195	△2	86	1	109	△3
うち役員取引等利益	45	4	24	1	21	2
経費	190	△6	88	△2	101	△3
コア業務純益	55	5	27	3	28	2
業務純益	55	4	28	3	27	1
経常利益	63	1	33	3	30	△2
中間純利益	47	3	24	1	22	1

### 貸出金残高(2行単体合算)

## 2兆6,836億円

貸出金は、中小企業向け融資を中心に増加し、前年同期末比322億円増加しました。



### 預金・譲渡性預金残高(2行単体合算)

## 3兆5,943億円

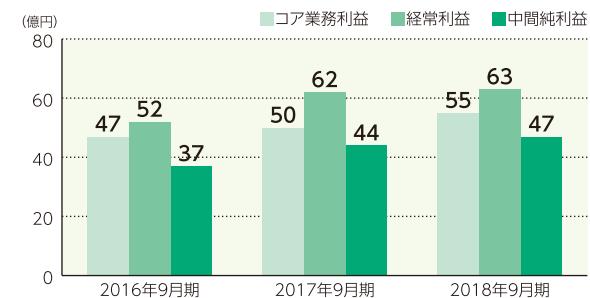
預金・譲渡性預金残高は、法人預金などが減少し、前年同期末比246億円減少しました。



### 利益(2行単体合算)

コア業務純益 **55億円** 経常利益 **63億円** 中間純利益 **47億円**

コア業務純益は前年同期比5億円、経常利益は同1億円、中間純利益は同3億円、それぞれ増益となりました。



### 自己資本比率(33FG連結・国内基準)

## 8.81%(連結)

自己資本比率は、連結で8.81%となりました。

### 格付け

日本格付研究所(JCR)  
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

## 三重銀行

### 貸出金残高

1兆3,745億円

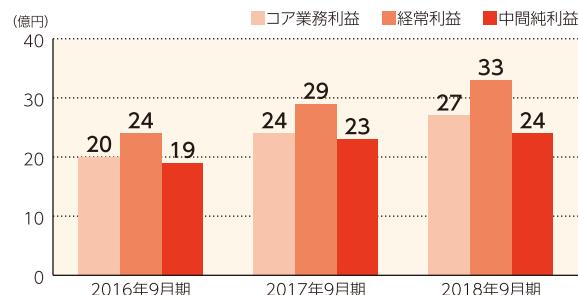
貸出金は、前年同期末比11億円増加しました。地元三重・愛知では、中小企業向け融資を中心に前年同期末比152億円増加しました。



### 利益

コア業務純益 27億円 経常利益 33億円 中間純利益 24億円

有価証券利息収入の増加、経費削減などから、コア業務純益、経常利益、中間純利益はそれぞれ前年同期比増益となりました。



※2016年9月期、2017年9月期は一部計数の組替えを実施しております。

### 預金・譲渡性預金残高

1兆7,762億円

預金・譲渡性預金は、個人預金が増加しましたが、法人預金などの減少から前年同期末比261億円減少しました。



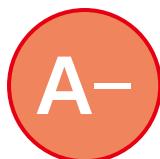
### 自己資本比率 (国内基準)

7.88% (単体) 8.08% (連結)

自己資本比率は、単体で7.88%、連結で8.08%となりました。

### 格付け

日本格付研究所(JCR)  
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

## 第三銀行

### 貸出金残高

1兆3,090億円

貸出金は、中小企業向け融資を中心に前年同期末比310億円増加しました。

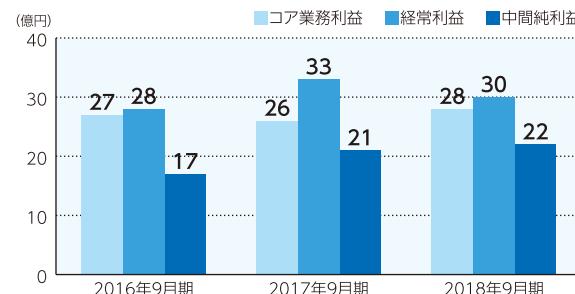


※計数は部分直接償却前です。

### 利益

コア業務純益 28億円 経常利益 30億円 中間純利益 22億円

コア業務純益は、役員取引等利益の増加などから前年同期比増益となりました。経常利益は、信用コストの増加により前年同期比減益となりましたが、中間純利益は、特別損益の改善などにより前年同期比増益となりました。



### 預金・譲渡性預金残高

1兆8,180億円

預金・譲渡性預金は、法人預金を中心に前年同期末比15億円増加しました。



### 自己資本比率 (国内基準)

8.17% (単体) 8.27% (連結)

自己資本比率は、単体で8.17%、連結で8.27%となりました。

### 格付け

日本格付研究所(JCR)  
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

# 株主・投資家の皆さまへ

## IR・CR活動

投資家への情報発信活動(IR活動)として、6月に東京で機関投資家等向けに会社説明会を開催いたしました。また、地域への情報発信活動(CR活動)として5月～6月に三十三フィナンシャルグループ設立記念懇親会を10会場にて開催いたしました。



三十三フィナンシャルグループ設立記念懇親会

## 株主優待制度

### ①株主優待定期預金

対象となる株主さま	基準日時点で当社株式70株以上をお持ちの株主さま
対象となる預金の種類	スーパー定期1年もの
適用金利	預入時の店頭表示金利+0.25%
預入金額	10万円以上、100万円以下
預金期間	1年
取扱銀行	三重銀行、第三銀行の窓口

※2018年9月30日を第1回基準日とし、以降、毎年3月31日、9月30日を基準日とします。(年2回)

### ②カタログギフト

対象となる株主さま	基準日時点で当社株式500株以上をお持ちの株主さま
内容	株主総会の決議ご通知発送時に同封するカタログから、お好みの商品をお選びいただけます。(5,000円相当)

※2019年3月31日を第1回基準日とし、以降、毎年3月31日を基準日とします。(年1回)  
・優待内容については、今後、見直しさせていただく場合がございます。

## 共同株式移転に伴う当社株式の割当について

2018年3月31日の最終の三重銀行及び第三銀行の株主名簿に記載または記録された株主の皆さまに対し、2018年4月2日に株式移転比率に応じて当社株式を割当交付いたしました。

### ▼株式移転及び株式移転比率について

株式移転とは、1つまたは2つ以上の株式会社から、その発行済株式の全部を、新たに設立する株式会社に取得させることをいいます。株式移転により、三重銀行の普通株式1株に対して三十三フィナンシャルグループの普通株式1株を、第三銀行の普通株式1株に対して三十三フィナンシャルグループの普通株式0.7株を割当交付いたしました。

## 単元未満株式の買取(ご売却)・買増(ご購入)請求、住所変更等の各種お手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの株主さま……お取引のある証券会社等にお問い合わせください。

証券会社等に口座をお持ちでない株主さま……右記の日本証券代行株式会社にお問い合わせいただくか、日本証券代行株式会社ホームページ(<https://www.jsa-hp.co.jp/>)上の「株式に関するお手続き」をご参照ください。

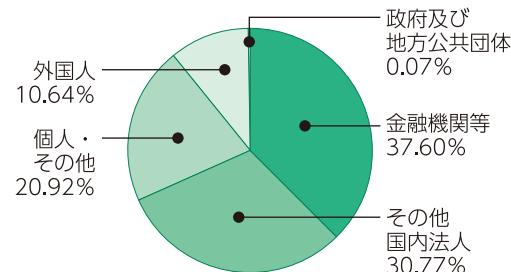
## 未受領の三重銀行・第三銀行の配当金等に関するお手続きについて

当社の株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。☎0120-707-843  
(未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店及び三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。)

## 株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行済株式の総数	30,367,585株
普通株式	26,167,585株
第一種優先株式	4,200,000株
株主数	
普通株式	13,504名
第一種優先株式	1名

## 普通株式所有者別分布状況 (2018年9月30日現在)



## 株式のご案内

- 決算日…… 毎年3月31日
  - 定時株主総会…… 毎年4月1日から3ヵ月以内に開催いたします。  
(当社は最初の決算日が2019年3月31日のため、第1回定時株主総会は2019年6月に開催を予定しています。)
  - 定時株主総会の基準日…… 毎年3月31日
  - 公告の方法…… 電子公告により行います。  
【公告掲載URL】<https://www.33fg.co.jp/>  
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
  - 上場証券取引所…… 東京証券取引所市場第一部 (普通株式)  
名古屋証券取引所市場第一部
  - 証券コード…… 7322
  - 1単元の株式の数…… 100株 (証券市場での売買単位)
  - 株主名簿管理人…… 日本証券代行株式会社 (特別口座管理機関)  
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
- 郵便物送付先  
及び  
電話お問い合わせ先

日本証券代行株式会社 代理人部  
〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
電話 0120-707-843(フリーダイヤル)  
受付時間(平日9:00~17:00)

## 三十三フィナンシャルグループのホームページ開設

持株会社設立に伴いホームページを開いたしております。財務・IR情報、株式関係情報、ニュースリリースなどホームページからご覧いただけます。

三十三フィナンシャルグループ

検索

<https://www.33fg.co.jp/>

# 沿革・役員一覧

## 沿革

### 三重銀行

1895年 四日市銀行設立  
 1939年 三重銀行に行名改称  
 1996年 東京証券取引所第一部上場  
 1998年 新本店竣工  
 2015年 創業120周年



### 第三銀行

1912年 熊野共融合資会社設立  
 1967年 熊野市から松阪市へ本店移転  
 1989年 第三銀行に商号変更  
 1989年 東京証券取引所第一部上場  
 2012年 創立100周年



三十三フィナンシャルグループ 2018年4月 経営統合により共同持株会社「三十三フィナンシャルグループ」設立

## 役員一覧

### 三十三フィナンシャルグループ

(2018年9月30日現在)

役職名	名前	子銀行の兼職
代表取締役会長	岩間 弘	第三銀行 取締役頭取
代表取締役社長	渡辺 三憲	三重銀行 取締役頭取
取締役	谷川 憲三	第三銀行 取締役会長
取締役	種橋 潤治	三重銀行 取締役会長
取締役兼執行役員	井口 篤	第三銀行 取締役兼専務執行役員
取締役兼執行役員	山本 隆司	三重銀行 取締役兼専務執行役員
取締役兼執行役員	藤田 隆弘	第三銀行 取締役兼常務執行役員
取締役兼執行役員	堀内 浩樹	三重銀行 常務執行役員総合企画部長
取締役[監査等委員][常勤]	坂本 康隆	
取締役[監査等委員][社外取締役]	藤原 信義	
取締役[監査等委員][社外取締役]	野呂 昭彦	
取締役[監査等委員][社外取締役]	古川 典明	
執行役員	片岡 新二	三重銀行 取締役兼専務執行役員
執行役員	達中 敏治	第三銀行 上席執行役員人事総務部長
執行役員	東海 悟	三重銀行 取締役兼常務執行役員
執行役員	川瀬 和也	第三銀行 取締役兼上席執行役員総合企画部長

(注) 取締役のうち藤原信義、野呂昭彦、古川典明の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

## 三重銀行



株式会社三重銀行  
取締役会長 種橋 潤治



株式会社三重銀行  
取締役頭取 渡辺 三憲

(2018年9月30日現在)

役職名	名前	役職名	名前
取締役会長 [代表取締役]	種橋 潤治	常務執行役員	坂本 直樹
取締役頭取 [代表取締役]	渡辺 三憲	常務執行役員	堀部 勝寛
取締役兼専務執行役員	山本 隆司	常務執行役員	増田 晃男
取締役兼専務執行役員	一色 孝三	常務執行役員	松岡 太朗
取締役兼専務執行役員	片岡 新二	執行役員	桐井 毅
取締役兼常務執行役員	廣瀬 壽美	執行役員	鈴木 秀幸
取締役兼常務執行役員	東海 悟	執行役員	町野 昌年
取締役 [監査等委員][常勤]	砂田 毅彦	執行役員	小河 寿徳
取締役 [監査等委員][社外取締役]	松井 憲一	執行役員	森 啓旗
取締役 [監査等委員][社外取締役]	伊藤 雄二	執行役員	若杉 哲也
取締役 [監査等委員][社外取締役]	用 弘美	執行役員	浅井 成夫
取締役 [監査等委員][社外取締役]	吉田すみ江	執行役員	佐藤 篤司
常務執行役員	内海 誠志	執行役員	野呂 明弘
常務執行役員	加藤 芳毅	執行役員	安田 琢朗
常務執行役員	小林 克志	執行役員	加藤 忍
常務執行役員	堀内 浩樹	執行役員	中森 啓太
常務執行役員	松川 賢二	執行役員	林 章夫
常務執行役員	松本 環		

(注) 1. 取締役のうち松井憲一、伊藤雄二、用弘美、吉田すみ江の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

2. 取締役吉田すみ江氏の戸籍上の氏名は、今尾すみ江であります。

## 第三銀行



株式会社第三銀行  
取締役会長 谷川 憲三



株式会社第三銀行  
取締役頭取 岩間 弘

(2018年9月30日現在)

役職名	名前	役職名	名前
取締役会長 [代表取締役]	谷川 憲三	上席執行役員	里村 恭
取締役頭取 [代表取締役]	岩間 弘	上席執行役員	浦川 智可
取締役兼専務執行役員	井口 篤	上席執行役員	柴田 尚郎
取締役兼常務執行役員	藤田 隆弘	上席執行役員	達中 敏治
取締役兼常務執行役員	浅野 章	上席執行役員	京戸 裕司
取締役兼上席執行役員	山川 憲一	上席執行役員	梅田 尚稔
取締役兼上席執行役員	川瀬 和也	上席執行役員	青木 利公
取締役兼上席執行役員	濱岡 正己	上席執行役員	吉田 真也
取締役兼上席執行役員	大畑 隆	執行役員	宮地 理
取締役 [監査等委員][常勤]	中村 和弘	執行役員	楠 和人
取締役 [監査等委員][社外取締役]	中川 昇	執行役員	戸谷 高明
取締役 [監査等委員][社外取締役]	太田 栄子		

(注) 取締役のうち中川昇、太田栄子の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。